

ピカピカ泥だんごの作り方

1. 土台作り

- 力を込めて絞って水分を出しながら、土台になる玉をつくります。
- ガシッと固まるまで、固く握りしめながら球体にしていきます。表面に小石や毛などが出ないように注意しましょう。最後は、固く握ってください。

2. 球体作り（10～15分）

- 土を振りかけて、表面をなぞって球体にしていきます。でこぼこがなく、ゆがみのない完璧な球体を目指しましょう。決して強くこすらないでください。
- 振りかけた土を振り落として跡をなぞってさらにきれいな球体にします。全体にまんべんなくしましょう。
少しずつさら粉の量を多くしていきます。
上手にやればきれいな表面になっていきますが、かけた土がふかふかと付着している状態なので、空気が含まれています。これを出すために、球体を壊さないように注意しながらぎゅっぎゅっと握りしめて、凝縮した球体にします。適当にこれを繰り返しながら、また土を振りかけてはなぞります。振りかけた土を吹いて、全部吹き飛ばくらい乾いてきたら終了です。

3. 仮皮膜作り（10～15分）

- 表面を削り取るように強くこすっていきます。下から粘土質のきれいな皮膜が現れてきます。
- 再び、土を振りかけて強くこすることを繰り返して、仮皮膜を強固にしていきます。
これを数回繰り返します。

4. 休ませる（1時間程度）

ビニール袋に包んで、休ませます。
下に雑巾などを敷いた柔らかい場所に置きましょう。
この間にもう一つのだんごを作ります。

5. 皮膜作り（30分）

片手にだんご玉を持ち、もう片方の手でコンテナのさら粉の上をなでまわすようにして、手の平に付着してくる白い粉をだんご表面に付けて行ってこすります。
最初は、少量ずつだんだん多く付けるようにします。表面を「ぶつぶつ」や「まだら」にしないことが重要です。そのためには強く削るようにこすりましょう。

6. 磨き（30分）

磨き布（ストッキング・フェルトなど）で最初はそつと表面をこするようにシャツシャと磨きます。
5分ほど磨いて、球の表面の触感が殻をむいたゆで卵を持った時のような感じになってきたら、できあがりのタイミングです。

（光る泥だんご 加用文男編・著 ひとなる書房 参照）

基本的な作り方ですので、天候等によってはこの通りにいかない場合があります。

泥だんごのつくり方



真砂土（運動場の土）に
水を含ませて絞る



真砂土をふりかけては
丸く絞り固める



形をきれいに
整える

鈍く光り出し
たら袋に入れ
て休ませる



ふるいにかけた粉状
の真砂土を振りかけ
ながら固める

ストッキングで気長に
目指せ！ぴかぴか！

